

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ちたのいえ

グループの名称

チタジュウグループ ちた住宅ナビの会

直近採択グループ番号

06-0020-0469

(グループ代表者)

代表者名	水野 富夫	代表者印
代表者所属先	チタジュウ建材株式会社	
代表者所在地	愛知県東海市加木屋町松の内87番地	
代表者電話番号	0562-33-2627	

(グループ事務局)

事務局事業者名	チタジュウ建材株式会社	
事務局担当者名	新海 亜実	印
事務局郵便番号	477-0032	
事務局所在地	愛知県東海市加木屋町松の内87番地	
事務局電話番号	0562-33-2627	
事務局FAX	0562-32-3810	
事務局担当者E-mail	a-shinkai@chitajyu.com	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		16	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	16	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		11	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	グループ採択発出日よりおおよそ1ヶ月間「配分エントリー期間」を設ける。 エントリーは原則1事業者1棟に限り、工事請負契約締結済みかつ着工予定日の早い物件を優先し配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸				
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ちたのいえ	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) チタジュウグループ ちた住宅ナビの会	(結成年) 2011 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0020-0469	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	知多半島地域の気候は冬は比較的風が強く、夏は蒸し暑いので、気密性や断熱性を高めることを重視する。また発生が懸念されている南海トラフ地震の対策として耐震等級2以上がのぞましい。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	気密性・断熱性を高める手段として、断熱材による断熱強化や高機能サツンの使用を推奨する。また南海トラフ地震発生時にできるだけ自助共助活動ができるよう、エネルギー源は電気・ガス・太陽光発電・蓄電池・薪ストーブ・ペレットストーブから複数を選択する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏は蒸し暑い知多半島地域において、住宅の断熱性能を高めることだけでなく、日光の当たり方を考慮して光と風を有効利用する設計にする。	○
④①～③の背景	知多半島地域は、海に囲まれた蒸し暑いと風の強い冬、そして南海トラフ地震による災害が懸念される地域である。よって断熱性が高く、さらに耐震性に優れた住宅がのぞましいといえる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	1次消費エネルギーを削減するために、高効率給湯器やエアコン等の家電、LED照明などの高省エネ機器の採用を推奨する。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する材についてはある程度の使用ルールを決め、それに従うこととする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: パッケージを作成し、できるだけグループ内で統一できるようにする。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 「ちたのいえ」パッケージを作成しこれに準じた仕様にする。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: パッケージを利用する住宅については調達の共同化・効率化を図りコスト削減に努める。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: パッケージの利用により事務の効率化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局を中心に検討委員会を設置し、適宜開催し検討する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が中心となり合理化についての情報提供や立案、委員会の開催等を行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ間で情報交換を行い技術向上を目指す。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地盤調査を行うことや瑕疵保険の検査に準ずる。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施主が分かりやすいように丁寧な見積もり作成とパンフレット等の写真を添付するなどの工夫をする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造や完成等、現場見学会の開催や、ホームページ・SNSを使って情報発信を行う。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 隔週土日休みを導入するよう推奨する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 講習会の情報を発信する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 労災保険や健康保険への加入を促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全大会の実施・年に1度健康診断の受診を推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当事業未経験の施工事業者に対し、事務局が当事業における住宅仕様の施主向け説明パンフレットの作成や申請サポートを行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ちたのいえ <small>(グループの名称)</small>	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県 <small>(結成年)</small>
2. グループの名称・結成年月(必須)	チタジュウグループ ちた住宅ナビの会	2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0020-0469	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅履歴情報の蓄積	◎、○ 記入欄
	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は施主及び事務局に適宜報告する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関の利用を推奨する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に事務局からメンバーに連絡をし、確認を行う。	○
	② メンテナンス基準	
	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時期・点検箇所を表にしたものを作成し、それに基づいて点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスに関する勉強会を実施する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に事務局が確認を行う。	○
	③ 住まいの管理	
	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで開催するイベントにて勉強会を実施する。もしくは年4回発行のニュースレターに掲載する。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで開催するイベントにてDIY体験等を取り入れる。	○
	③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: その他相談会については適宜実施するか、ホームページより相談を受け付ける。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、グループメンバーの意識を高める。	○
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書を作成し、メンバーに偏りがないようにする。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が施主に説明、ヒアリングを行い、グループの施工業者を紹介する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 適宜開催する。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕入先・メーカーが行う講習会等の情報を事務局より発信する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕入先・メーカーが行う講習会等に参加し、メンバーの技術の安定化を図る。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会等に参加したか事務局にて確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者の受注状況を把握し、計画的で効率的な供給ができるよう努める。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕入先・メーカーが行う講習会等の情報を事務局より発信し、重要と思われるものには特に参加を促す	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 適宜開催する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 15	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 15	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より講習会情報を発信し参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会を開催し、新しい技術の導入を検討する。	○
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕入先・メーカーが行う商品勉強会に参加し、新たな技術の開発につなげる。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
	当事業未経験の施工業者に対し、事務局が当事業における住宅仕様の施主向けパンフレットの作成や申請サポートをおこなう。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> ちたのいえ	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 愛知県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> テタジュウグループ ちた住宅ナビの会	<small>(結成年)</small> 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0020-0469	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ●地域の業者とグループを組むことで、情報交換会や技術等についての勉強会を開催し、それぞれの意識を高め、レベルアップを図る。 ●材料だけでなく、地域の業者やお店を利用するという「地産地消」をイベント等を通じて地域の人々に訴求する。 ●断熱や高機能サッシを効率的に使用し、快適で住みやすい住宅をつくる。 <p>【認定低炭素住宅】 一次エネルギー消費量を10%以上削減する。 エアコン等の家電、LED照明などの高省エネ機器を効率的に取り入れることとする。 節水型水栓の採用や、庭への植樹等も併せて施主にすすめる。</p> <p>【性能向上計画認定住宅】 一次エネルギー消費量を10%以上削減する。 高効率給湯器やエアコン等の家電、LED照明などの高省エネ機器を効率的に取り入れることとする。</p> <p>【ゼロ・エネルギー住宅】 R0値(太陽光発電を除くエネルギー削減率)を概ね20%以上削減する。 太陽光発電等の創エネルギー機器を搭載し、R値100%以上にする。 高効率給湯器やエアコン等の家電、LED照明などの高省エネ機器の採用を推奨する。</p> <p>【優良建築物型】 省エネ基準より20%削減を目指す。 地域材を使用することを推奨する。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。